

パグの改正部分

改正	現行
<p>■沿革</p> <p>この犬種の起源については幾つか推測されているが、どうやら東洋から来たようである。この犬種の原産国には短吻犬が常に好まれてきた中国が挙げられている。オランダの東インド会社の商人と共にヨーロッパに渡り、オランダで称賛されたのは1500年代まで遡る。<u>実際、パグは王室のシンボルにもなっている。パグはウィリアムⅢ世が王位についた際にイギリスに到着した。1877年まではフォーンのみがみられたが、その年に東洋からペアのブラックが紹介された。</u></p> <p>■一般外貌</p> <p>明らかにスクエアで、コビーで、<u>「入れ物は小さくても内容は豊富」</u>である体軀はコンパクトで、引き締まったプロポーションで、筋肉は堅く、<u>決して脚が短かったり、痩せていたり、長く見えたりしてはならない。</u></p> <p>■重要な比率</p> <p><u>明らかにスクエアで、コビーである。</u></p> <p>■頭部（ヘッド）</p> <p><u>比較的大きく、ボディと均衡が取れており、丸いが、アップル・ヘッドではない。</u></p> <p><input type="checkbox"/>頭蓋部（クラニアル・リージョン）</p> <p><u>スカル</u></p> <p>窪みは全くない。前頭部の皺は明瞭であるが、<u>過度ではない。</u></p> <p><input type="checkbox"/>顔部（フェイシャル・リージョン）</p> <p><u>鼻（ノーズ）</u></p>	<p>■沿革</p> <p>中国の古い愛玩犬だが、オランダにもたらされたのが1600年代の末頃だったといわれ、そのためヨーロッパではオランダの原産犬種として信じられていた時代が長かった。ペキニーズなどと同じ祖先犬から作出されたといわれている。しかし、中国におけるこの犬種の沿革はまったく不明である。</p> <p>イギリスには、オランダ東インド会社を通じてもたらされるや、貴族の夫人たちに愛好され急速に人気犬種となった。<u>当時は断耳をする習慣となっていた。</u></p> <p>この犬種を愛好した皇帝や貴族のなかにはイギリスのウィリアム3世（1650年～1702年）、<u>ロシアのエカテリナ2世王妃（1729年～1796年）</u>などがある。<u>パグとは、ラテン語のにぎりこぶしのことで、頭部の形がにぎりこぶしに似ているところから名付けられたと伝えられている。</u><u>国によって犬種名が異なっている珍しい犬である。</u></p> <p>■一般外貌</p> <p>明らかにスクエアで、コビーで、体軀はコンパクトで、引き締まった体つきをし、筋肉は堅い。</p> <p>■重要な比率</p> <p>無し</p> <p>■頭部（ヘッド）</p> <p>大きく、丸いが、アップル・ヘッドではない。</p> <p><input type="checkbox"/>頭蓋部（クラニアル・リージョン）</p> <p><u>スカル</u></p> <p>窪みは全くないが、皺は明瞭である。</p> <p><input type="checkbox"/>顔部（フェイシャル・リージョン）</p> <p><u>鼻（ノーズ）</u></p>

黒く、かなり大きく、鼻孔はよく開いている。
狭い鼻孔及び鼻に覆いかぶさる皺は許容されず、重いペナルティーを科されるべきである。

マズル

比較的短く、ずんぐりしており、スクエアであるが、上向きではない。鼻の上の皺は、決して目や鼻に不利な影響を与えたり、見えにくくしたりしてはならない。

顎／歯（ジョーズ／ティース）

僅かにアンダーショットである。下顎は幅広で、切歯はほぼ一直線に生えている。ライ・マウスや、歯や舌の見えるものは極めて好ましくなく、重いペナルティーを課されるべきである。

目（アイズ）

ダークで、比較的大きく、丸い。優しく、熱心な表情で、たいへん輝きがあり、興奮している時にはきらきらと輝く。決して突出していたり、過度であったり、真っ直ぐ前を向いているときに白目が見えたりはしない。明らかな目の異常はない。

■頸（ネック）

誇らしげに僅かにアーチし、力強く、太く、頭部を誇り高く掲げるのに十分な長さがある。

■尾（テイル）

尾付きは高く、尻の上に固くカールしている。ダブル・カールがたいへん好ましい。

■歩 様（ゲイト／ムーブメント）

前望すると、脚は肩の真下で動き、足は真っ直ぐ前方を向いており、内向も外向もしていない。後望した時の動きも正確である。前脚は真っ直ぐ前に伸び、後脚はスタイフルを用いて自由に動く。後肢の特徴的な歩様により、僅かなローリングを見せる。しっかりと安定した歩様ができる。

■サイズ

理想体重：6.3 kg～8.1 kg

堅固な筋肉質だが、サブスタンスと過体重を

よく開いた鼻孔。

マズル

短く、ずんぐりしており、スクエアであるが、上向きではない。

顎／歯（ジョーズ／ティース）

僅かにアンダーショットである。ライ・マウスや、歯や舌の見えるものは極めて好ましくない。下顎は幅広で、切歯はほぼ一直線に生えている。

目（アイズ）

ダークで、たいへん大きく、球状である。優しく、熱心な表情で、たいへん輝きがあり、興奮している時にはきらきらと輝く。

■頸（ネック）

僅かにアーチし、力強く、太く、頭部を誇り高く掲げるのに十分な長さがある。

■尾（テイル）

（ツイスト）：尾付きは高く、尻の上にできるだけ固くカールしている。ダブル・カールがたいへん好ましい。

■歩 様（ゲイト／ムーブメント）

前望すると、脚は肩の真下で動き、足は真っ直ぐ前方を向いており、内向も外向もしていない。後望した時の動きも正確である。前脚は真っ直ぐ前に伸び、後脚はスタイフルを用いて自由に動く。

■サイズ

理想体重は 6.3～8.1kg。

混同してはならない。

■失 格

- ・ 攻撃的または過度のシャイ。
- ・ 肉体的または行動的に明らかに異常なもの。
- ・ 陰睾丸

■失 格

- ・ 陰睾丸